

長崎市こども相談センターだより 第3号

和顔愛語【穏やかな笑顔と思いやりのある話し方で人に接すること】
(わげんあいご)

令和7年11月発行



長崎市魚の町4番1号（こどもみらい課内）電話：825-1949

こども相談センター相談専用ダイヤル：829-1122

Eメール kodomosoudan_center@city.nagasaki.lg.jp

愛の一声運動

地区別研修会で少年補導委員の資質向上を図る

8月から9月にかけて、地区ごとに少年補導委員の資質向上や子どもたちを取り巻く環境についての理解を深めることを目的として、地区別研修会を実施しました。



相談支援活動の充実に向けた一人一台端末の活用

いじめや不登校、友人関係や家庭環境など多様かつ複合的な問題を抱える子どもたちに対する**相談支援活動の充実を目的**として、長崎市少年センターが“**こども相談センター**”として生まれ変わってから約1年半が過ぎました。こども相談センターではこれまでも、対面での相談や電話、Eメール、LINEなどによって悩みや問題を抱える子どもや保護者からの相談に対応してきました。本年度はさらなる相談



支援活動の充実を図るために、悩んだり困ったりしたときに子どもたちがこれまで以上に気軽に相談ができるよう、一人一台配当されている**「学習用タブレット」に相談アプリを導入**することにしました。先行実施に応募があった小学校8校、中学校4校、高等学校1校を第1次モニター校として8月末までにテスト運用を開始しています。センターでは、子ども



たちが精神的に不安定になる**夏休みの終わりから2学期が始まる週を『相談アプリ対応強化週間』に設定**し、分担して対応時間を延長するなどの対策を行い、子どもたちからの相談に迅速に対応できるようにしました。子どもたちは、友人関係や親子関係、進路や学業に関する悩みなどを気軽に相談することができているようです。中には子ども自身の命にかかわる可能性も否定できないケースもあり、アプリへの投稿がきっかけとなり、事前の情報共有や周囲の注意喚起につながったこともありました。

12月中には第二次モニター校にも運用を広げていくことにしています。モニター校によるテスト運用期間中に導入における課題や問題点などを洗い出して、検討を加えながら、R8年度には市内の全ての公立小中学校に運用を広げ、さらなる相談支援活動の充実を図っていく予定です。

おくんち特別補導

10月7日(火)に『おくんち特別補導』を実施しました。約100人の少年補導委員の皆さまが**赤い帽子とオレンジのベスト**を着用して“**見せる補導活動**”を実践することで、子どもたちの非行防止や安全な地域行事への参加を見守りました。ご参加いただいた皆さま、たいへんお疲れ様でした。

少年補導委員の改選に向けて動き出しています

【少年補導委員の皆さまへ】 長崎市少年補導委員の任期は2年間で、今年度末には少年補導委員の改選が行われます。今回の少年補導委員改選における変更点や簡素化した点についてお知らせします。

- ① 70歳定年制が改正され、**70歳以上の方も引き続き少年補導委員としての活動を継続することができる**
- ② 継続して活動いただく場合、個人票の住所や電話番号、Eメールアドレス、勤務先、振込先口座などに**変更がない場合には、6・7年度に同じ()に○印を記入するだけ**
→ 一部のみ変更の場合には、6・7年度に同じ()に○印をつけ変更箇所のみ記入する
Eメールアドレス変更の場合には、必ずセンターに登録依頼メールを送信する
→ 6・7年度と振込先口座に変更がない場合には、通帳表紙裏面のコピーの提出は不要
→ **新規に登録する少年補導委員は、すべての項目を記載し、通帳コピーの提出が必要**
- ③ 市補協役員歴は、わかる範囲(任意)で記入する



詳細な記入要領は個人票の裏面に印刷していますので、お手元に届きましたらご確認の上、ご記入ください。

4月～9月総計	小学生	中学生	高校生	その他	合計
1 飲酒	0	0	0	0	0
2 喫煙	0	0	0	0	0
①交通違反	4	1	3	3	11
③危険な遊び	0	9	0	0	9
④外出時間注意	16	14	46	0	76
⑥買い食い	3	2	1	0	6
⑦盛場徘徊	0	0	0	0	0
⑧ゲームセンター	27	13	29	4	73
⑨男女交際	0	0	2	0	2
⑩『愛の一声』	2073	566	229	41	2909
合計	2123	605	310	48	3086

《編集後記》 ついひと月前までは猛暑の毎日が続いていましたが、おくんちも無事終わり、季節は確実に進み、朝夕は少し寒さを感じるようになってきました。この季節は子どもたちだけでなく大人にとっても「勉学の秋・スポーツの秋・読書の秋・食欲の秋…」などさまざまなことに集中できる快適な時期だと思います。そのような中で子どもたちが道を踏み外すことがないように『愛の一声運動』にご協力いただいている少年補導委員の皆さまに心から感謝申し上げます。(山鹿)